



SEADS研修生は新規就農を目指し、市内各地で実習を行っています。
鶴岡市をはじめ、全国各地から集まった若者をあたたかく御支援ください。

SEADSのホームページは
こちらのQRコードから
ご覧いただけます。

稲刈りの実習を行っています

今年は1年生が市内各地の水稲農家で研修を行っています。

7月の猛暑の影響で、例年よりおよそ1週間早く稲刈りのシーズンに入り、多くの研修生が稲刈り作業を行っています。

最近の稲刈り作業はほとんどコンバインで行われていますが、昔ながらのバインダー刈り-杭掛けの実習を行った研修生もいます。

秋晴れの下、指導農家から杭掛け・天日干しの手順を教わり、手作業での米作りの難しさや大変さを実感していました。

庄内農業の基本である美味しい米作りの研修も充実しています。



(指導農家と研修生)



(研修先農家での杭掛けの様子)

SEADS農場での実習の様子

研修生自身の技術向上に繋げる自学の場であるSEADS農場では、自分の作りたい作物やアドバイザーからのおすすめ作物などの栽培に取り組んでいます。

トラクターによる耕起作業からスタート。ブロッコリー、赤かぶ、だいこんなどの秋冬期野菜の種まき、植え付け、水やり、草取り、虫除けなどを行っています。

慣行と有機栽培の違いや栽培技術の基礎知識など、座学で学んだことを圃場で実践し、学びを深めています。また、収穫した作物は、夕食の食材などに活用されています。



(SE ADS農場に自作・設置した灌水チューブからの水やりの様子)

堆肥枠を自作・設置しました

SEADS農場で栽培した作物の茎・葉などを堆肥として使用するため、堆肥枠を自作・設置しました。

実際に堆肥として使用するのはいおよそ2年後で、後輩が使う堆肥になります。



(自作堆肥枠)

研修生の紹介

青木周平さん (静岡県出身)
実習先：羽黒 (水稲)
西郷 (園芸)



日本酒が好きですが、鶴岡の地酒はどれも美味しい。研修を通し、元となる米作りに携われることを貴重に感じています。